

高等教育活性化シリーズ 444 (通算 776 回)

2022年9月26日 (月)

大学とは、新高等教育を拓く ―

大学設置基準<改正>の検証と今後

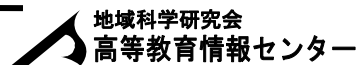
～ 官邸・文科省の政策シナリオ/個別大学の見識・自律 ～

- ※ 今後の高等教育～シナリオと政策/システムに影響するもの/設置基準改正の意味合いとその影響
- ※ 質保証システムの4大要件/設置基準見直しの2つの視座～柔軟性と厳格性/多様な特色を生かす
- ※ 「改正案」の批判的検討～「教育研究実施組織」「基幹教員」「特例制度」/「学問の府」の基盤
- ※ 「教職協働」と「役割分担」からみた「教研実施組織」の検証/教員と職員「役割・権限」不記
- ※ 認証評価からみた<改正>設置基準の検証/内部質保証の現在地/公的質保証と認証評価の関係
- ※ [パネル討論] 新・高等教育の教学マネジメント・質保証を拓く/大学設置基準<改正>を問う

● 講師陣 ●

- 山本 真一 氏 / (国) 広島大学・(国) 筑波大学・桜美林大学 名誉教授
 大森 昭生 氏 / 共愛学園前橋国際大学 学長
 中教審 大学分科会 臨時委員 質保証システム部会 臨時委員
 下地 真樹 氏 / 日本私立大学教職員組合連合 中央執行委員長
 阪南大学 経済学部 准教授
 菊池 芳明 氏 / (公) 横浜市立大学 高等教育推進センター 学務准教授
 前田 早苗 氏 / (国) 千葉大学 名誉教授
 中教審 大学分科会 質保証システム部会 臨時委員

2022年9月26日 (月曜日) オンライン開催



日時: 2022年9月26日 (月) 13:00 ~ 16:50

会場: ウェブ会議システム

「Zoom (ズーム)」によるオンライン開催

※返信メールの送付をもって、参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名 (資料代込) 36,000 円 (税込)

B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付) 39,000 円 (送料、税込)

C. 高等教育同人 (☆) 18,000 円 (税込)

※ 「メディア参加」とは、開催当日に受講が難しい方の参加形式です。開催後に当日配布資料及び講義の音声収録したCDを送付します。

※ 当日オンライン参加とともに、音声CDをご希望の方には、別途CD代をご案内いたしますので、お手数ですが、お問い合わせ願います。

※ 参加費の払い戻しは致しません。

※ 「高等教育計画経営研究所同人」は個人加入の組織です。詳細はKKJHPの「高等教育計画経営研究所の創設について」をご覧ください。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法: 銀行振込でお願いいたします。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱UFJ銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

口座名 (株) 地域科学研究会

※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます。

申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-3-10
ライオンズマンション平河町 101

Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993

E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp

HP : <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

..... キリトリ線 (※参加申込みの際は下記必要事項をご記入ください)

研究会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 444

大学設置基準<改正>の検証と今後

勤務先 _____

所在地 (〒 _____)

TEL _____

FAX _____

(該当する□に✓印を) _____ 年 月 日

オンライン当日参加 メディア参加

支払方法 銀行振込

必要書類 請求書 見積書 領収書

(請求書等記載の宛名 _____)

連絡部課・担当者名 _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
13:00 〃 13:50	<p>□ 今後の高等教育システムのシナリオと政策 ～ 大学は、そして文科省はどうなっていくのか～ (国) 広島大学 (国) 筑波大学 桜美林大学 山本 眞一</p> <p>1. 高等教育システムの現状 (1) 膨張する大学・学生数と18歳人口の減少 (2) 変化する大学の役割(学術研究・教養教育・専門教育・職業教育・人材選抜) (3) 緊密化する(させられる)大学と社会との関係～社会制度としての大学 (4) 現状の中に見出される諸問題</p> <p>2. システムに影響を及ぼすものは何か (1) 18歳人口減少のインパクト～入学者選抜から学生数確保へ、そしてその先 (2) 強まる官邸主導～ボトムアップからトップダウンへ (3) 科学技術・イノベーションへの傾斜～理系シフトはどこまで (4) 企業モデル・官僚モデル・同僚モデル～その組み合わせの最適化は?</p> <p>3. 今後の高等教育システムの展望 (1) 狂い始めた2040年のシナリオ (2) 大学の機能分化とその影響～種別化は大学を救うか? (3) 大学設置基準改正の意味合いとその影響</p>
14:00 〃 14:30	<p>□ 質保証システムにおける設置基準、内部質保証(教学マネジメント)、認証評価 ～多様な大学の多様な特色を生かすために～ 共愛学園前橋国際大学 大森 昭生</p> <p>1. 質保証システムのなりたち (1) 入り口における質保証を担保する設置基準 (2) 現代の「大学の自治」としての内部質保証 (3) 学修者本位への転換と教学マネジメント (4) 互いに高め合う認証評価</p> <p>2. 大学設置基準見直しの視座：柔軟性の向上 vs 厳格性の担保 (1) 客観性の確保 (2) 透明性の向上 (3) 先導性・先進性の確保(柔軟性の向上) (4) 厳格性の担保</p> <p>3. 大学の多様な特色を生かすために：地方小規模大学の視点から (1) 学生たちに多様な、そして先進的な学びを用意できるか (2) 地域社会の期待に応えることができるか：地域のニーズと地方大学の存続 (3) 学修者本位の学びと学生たちの幸せな生涯のために機能すべき質保証システム</p>
14:40 〃 15:10	<p>□ 大学設置基準「改正案」の批判的検討 ～「学問の府」の基盤たりうる大学設置基準を求めて～ 日本私立大学教職員組合連合 下地 真樹</p> <p>1. そもそも大学とは (1) 真理の探究としての学問 (2) 学問の自由と大学の自治 (3) 「改正案」は大学と学問の基盤を破壊する</p> <p>2. 「改正案」の内容とその批判 (1) 「教員組織」「事務組織」の削除と「教育研究実施組織」の新設 (2) 「専任教員」の削除と「基幹教員」の新設 (3) 「特例制度」の新設</p> <p>3. 近年の高等教育政策の展開と大学の危機</p>

<p>15:20 く 15:50</p>	<p>□ 「教職協働」と「役割分担」からみた「教育研究実施組織」の検証 ～ 事務職員は「高度専門職」たりうるか／教員・事務職員・高度専門職 ～ (公) 横浜市立大学 菊池 芳明</p> <p>1. 「教職協働」と「役割分担」 (1) 政策チームとしての「教職協働」 (2) 「協働」から「分担」へ：転換点としての令和3年大学分科会審議まとめ</p> <p>2. 日本の大学事務職員の特性 (1) 「メンバーシップ型」としての事務職員 (2) 3つの特徴と課題 (3) 令和3年大学分科会審議まとめによる「高度専門職」化</p> <p>3. ミッション、存立目的の実現のための大学運営 (1) 大学のミッション、存立目的は何か (2) 役割、権限が設置基準にない教育研究実施組織 (3) 日本の大学教員は自治の担い手たりうるか (4) 高度専門職 (IRer、URA 等) の課題</p>
<p>16:00 く 16:20</p>	<p>□ 認証評価からみた<改正>大学設置基準の検証 ～ 公的質保証における認証評価の役割とは ～ (国) 千葉大学 前田 早苗</p> <p>1. 設置基準の改正で認証評価はどう変わらなければならないのか</p> <p>2. 認証評価における内部質保証の評価の現在地</p> <p>3. 公的質保証における設置基準、AC、認証評価の関係はどうあるべきか</p>
<p>16:20 く 16:50</p>	<p>□ 【パネル討論】新・高等教育の教学マネジメント・質保証を拓く ～ <改正>大学設置基準は、このままでよいのか ～</p> <p>司 会 青野 友太郎</p> <p>パネリスト 山本 眞一 氏／下地 眞樹 氏／菊池 芳明 氏／前田 早苗 氏</p>